

岡山県連 50 周年記念誌制作方針と各会、会員へのお願い

県連記念誌委員長 谷川 治

岡山県勤労者山岳連盟（以下県連とする）は今年創立 50 周年を迎えます。その記念行事として、記念式典と講演会、記念交流登山および 50 周年記念誌制作が計画されました。しかしながら、新型コロナ感染の拡大のため、交流登山は 11 月に実施されましたが、記念式典は中止、講演会は遅れて来年 3 月開催となり、記念誌の制作も県連 9 会から選ばれた記念誌委員 12 名が集まらず遅延していました。

その中で、8 月 7 日と 10 月 30 日に委員が集まり記念誌制作方針の詰めを行い、その後は毎月 1 回ネットを使った会議で編集を進めています。

本稿では、記念誌制作方針の紹介と各会および会員へのお願いを記載しました。皆様のご協力をどうかよろしくお願い致します。また、ご要望、ご意見がございましたら、私までご連絡頂ければ幸いです。

谷川 治 E-mail ; qzb03677@nifty.com 住所 ; 710-0015 倉敷市中庄団地 11-13

No.	項目	内容	各会と会員へのお願い
1	表紙・裏表紙	SCMC の山遊スケッチサークルのスケッチでデザインする予定	本文中のスケッチ、イラストは全会員から募集
2	目次		
3	グラビア	50 周年記念登山「蒜山」写真 各会の集合写真	各会からの提供をお願い
4	挨拶	会長、全国連盟会長、中国地方協議会 4 県の会長祝辞	
5	県連の誕生と思い出	労山おかやま掲載記事を中心に編集、参加各会の会員数推移、会報第 1 号等、完成済	
6	県連行事の歴史	クリーンハイク、雪山講習等の歴史	
7	吉備路全山縦走	発足のきっかけ、各回記録	
8	50 周年記念登山	労山おかやま 12 月号記事	
9	西日本豪雨災害	概要、会員の被災状況と支援状況	
10	50 年史年表	結成前の 1966 年から 2021 年までの県連の出来事、全国連盟、世の中の動き	
11	加盟各会の歩み	各会の創立からの歩み、会の特色等	各会で執筆をお願い
12	山の事故一覧	年度、形態別の年表	
13	歴代役員	会長、理事長	
14	全国連盟表彰者	荣誉功劳賞、永年会員表彰の年度別一覧	

県連 50 周年記念誌に関する各会および全会員へのお願い

1. スケッチ、イラストを公募

50 周年記念誌の各ページ空きスペースには、会員でお得意な方からのスケッチやイラストを掲載したいと思います。下記要領で応募ください。

- ・できるだけ山に関係のあるスケッチあるいはイラスト。
- ・JPEG で送付。可能であれば 500KB 程度にしてください。
- ・標題があれば標題を、あと会名と氏名を記載ください。記念誌に掲載します。

なお、採否は記念誌委員会で決定します。報酬等はありません、ご了承ください。



2. 各会の集合写真

グラビアに各会の集合写真を掲載します。これまで撮られた写真あるいはこれから撮られる写真をお送りください。なお、人数の多い会は複数の写真を掲載します。

- ・各会の写真の上限枚数は 5 枚までとします。なお、会の人数に応じて枚数調整はさせていただきます。
- ・会名、撮影場所、年月日を記載ください。

3. 加盟各会の歩み原稿の作成お願い

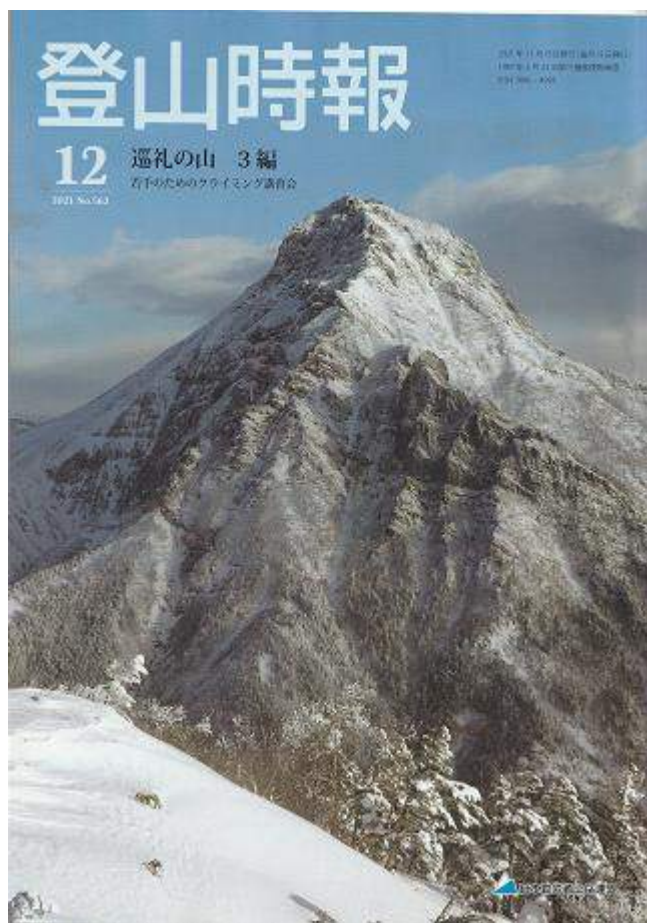
各会の結成からこれまでの歩み、会の特色等を記載した原稿を募集します。なお、会の会員数の変化等は 5 章で掲載されています。

- ・A4 で 1 ページ、字 12 ポイント、余白すべて 25 mm でお願いします。
- ・写真等入れて頂いて結構です。



4. 送付先と送付期限

- ・送付先；谷川 治 E-mail；qzb03677@nifty.com
- ・送付期限；いずれも 2022 年 2 月 15 日（火）



- 01 連載 中国の青いケン探訪記 松本秀和
- 02 巡礼の山々
山岳修験道 日本人の宗教観 西嶋鍊太郎
出羽三山 過去・現在・未来を歩く修験道
- 05 連載 山を楽しむ写真講座 宮本宏明
- 08 連載 白神便り 原田勇成
- 10 ふみあと
総会（評議会）の代（評）議員の在り方について
久保典子
- 11 巡礼の山々
加賀白山 神駆道 西嶋鍊太郎
霊山にこだます読経 標高差 1200mを信者ともに登る七面山
七面山健脚は日帰りで挑戦・中高年は参籠宿泊で
菊池健一
- 17 連載 子連れさんぽ 武井真理
- 22 連載 アドベンチャートラベル 大蔵喜福
- 24 連載 山登りのためのやさしい気象講座
野尻英一

- 26 事故防止は仲間の知恵で 疋田吉継・中川和道
- 28 専門委員会活動報告
- 31 全国連盟の活動
- 32 マンガ フウフウハアハア 村松孝一
- 33 インタビュー ひと 高橋円さん 前圭一
- 34 連載 地図読み迷人
宮内佐季子 小泉成行 監修：村越真
- 36 連載 会・クラブ紹介 新潟クライミングクラブ
- 38 連載 ネパール温泉紀行 石原裕一郎
- 39 筑井孝子のちょっと人物・物をうまく描こう
あらかると 石井光造
- 40 連載 オススメ山道具 笹原芳樹

若手のためのクライミング講習会

2021年10月2～3日 小川山

「柔軟な思考」が重要

基礎技術はしっかり身につけて

4回目となる「若手のためのクライミング講習会」は総勢20名（受講生11名、講師8名取材1名）で実施しました。初日はガマスラブで全体講習の予定でしたが、あいにく先客がおり、スラブ状岩場に変更。ハーネスやヘルメット、カラビナ・スリング類といった基本装備のチェックから始まり、クライミングシステム、登り方などを一通り説明。その後、トップロープでのクライミングと懸垂下降の練習を行い、夕方に終了。夜は、宿泊先の金峰山荘で本日のおさらい。クライミング登山では、「柔軟な思考」を持つことが重要であると、さまざまな事例を取り上げながら訴えました。

受講生の感想

- ◆登り返しや引き上げをやりたかった。（3名から）
- ◆ロープワークを外でもっとやりたかった。
- ◆マルチの支点工作をたくさん学びました。
- ◆各講師のおススメ技術を聞いて良かった。とても勉強になった。
- ◆他の会の人と交流できて良かった。大変有意義な二日間だった。
- ◆講師へのお礼の言葉

私の記憶の中の山

山陽カルチャーマウンテンクラブ 吉房順治

私の記憶にある山の名で一番古いものは、「コウノヤマ」と「ロンザン」である。どちらも和気町にあり、小学生低学年の時から父・母・祖母たちと一緒に、「薪」や「シダの葉」を採りに行った所だ。

勿論、そのほかにも「山」は有ったが、家の周りの山は「あの山」「向こうの山」「後ろの山」であって、特に名前は付いていなかったが、ただ「コウノヤマ」と「ロンザン」だけには名前があった。

「コウノヤマ」は南側にみえる山の、上の部分であった。言い伝えによると、そこには大蛇が住んでいて、不用意にやって来る人間を一呑みにしてしまうそうであるが、年に一度…12月27日までに山に入って、「シダの葉（お飾りに使う裏白）」を採ってくる。

それを木臼の下に敷き、正月用の餅を搗き…藁で作ったお飾りに付ける。お飾りは、歳桶・鏡餅・玄関・神棚・床の間・水瓶・井戸・籠・田圃・畑・牛小屋・山の祠等にそれぞれ持って行く。

いくつも作っていたので、回るのにけっこう時間が掛ったのを覚えている。

だから、「コウノヤマ」は見上げるだけの山であった。

※「コウノヤマ」は、その後「和気アルプス」の一部となり、コウノヤマの頂上は「神ノ上山」となった。

私は SCMC の歓迎山行で一度登ったが、当日は吹雪になり頂上まで行ったかは定かでない…ただ、『大蛇はいないよなー』とヒヤヒヤであった。

「ロンザン」は、冬場の山仕事…薪採りの場所であるが、どこからどの方向へ入ったのか？が、よく解らない。

父が大きな木製の一輪車（猫車）を押していき、母と祖母が「背負子」を背負って後に続く。細い道を上がったたり下がったりして木切り場所に行き、丸太を作り薪の束を作り帰って来る…私は一応、父の猫車を引っ張る手伝いをしていたが、本当のところは「足手まとい」だったのかも知れない。

高校に入ると「勉強」をダシに使い、冬場の木こり仕事はしなくなり…ロンザンの場所も消えて行った。

地図上には「論山」が確かにあるが、それが幼い頃行った「ロンザン」である確証はない。今、私は生まれたところに時々帰って、小さな田圃を耕して自己保有米を少々作っている。周りを見回して昔の記憶を辿ってみても、覚えている山の名は「コウノヤマ」だけ…山の頂上には

鯉職が翻っていて、『今度はシダの葉を採った道から、早く登って来いよ！』と待っていてくれるようだが、やはり大蛇がどこかで待ち受けているかも知れないので、躊躇している。

さて、双眼鏡で見上げながら、缶ビールでも飲むとするか…。

J・Y



2021年度第6回理事会

2021年12月7日作成

日時：2021年11月24日(水) 19:00~21:00

場所：ゆうあいセンター 会議室

出席者：13名 欠席者：0名 全：13名

1、報告

(1) 会計報告(久世会計部長)(各理事に送付済)

(2) 労山カレンダー

・全ての会で販売、集金済み。

倉労：10部 みまさか：10部 THD：5部

KHC：20部 SCMC：40部 NHC：6部

MONTATA：1部 計：92部

(3) 県連安全登山講習 教育委員会(加治)

イ) ロープワーク講習 11月3日(水・祝)

講師 近藤邦彦氏 参加費3,000円

・参加者19名 倉労1 岡労10 PFC1

SCMC2 MONTATA1 広島県連4

県連教育からは加治委員長・久世副委員長が参加

・今回は主に、懸垂下降時のバックアップの取り方と登り返しについての講習を行った。

・確実なロープワークの講習は、継続的に実施していく必要がある。

(労山おかやま12月号掲載)

・県連からの補助は、講師料補助及び理事交通費の計5,720円

(4) 全国連盟行事について

イ) 全国登山学校担当者交流会 11/6(土)~

7(日) 兵庫県雪彦山 夢前町 夢さき

夢のさとコテージ

・加治理事長とMONTATA会員1名の2名が参加

・大阪府連、京都府連の登山学校の実施状況の説明、各県連登山学校の報告、岡山県連の「安全登山講習」の実施状況の報告もする。(労山おかやま12月号掲載)

2、議題

(1) 50周年記念事業計画について

イ) 記念誌の編集・発行=記念誌委員会(谷川機関紙委員長)

・第2回記念誌委員会は10月30日(土)

13:30~ ゆうあいセンターで開催。

記念誌は3月末までに発刊予定。

・詳細分担、担当者決定。

・労山おかやま掲載記事より選定し載せる。

・ページの隙間にスケッチ等を入れる。

・第3回会議を12月2日ZOOM開催予定。

ロ) 記念講演会(小林副会長)

・山本正嘉先生講演 タイトル「安全な登山のための体づくりと山での疲労対策」、オプション：実技「登山体操」

・3月5日10:00~ 岡山県国際交流センター8階イベントホール

・募集案内は労山おかやま1月号掲載。

・50周年記念講演会実行委員会を1月に開催予定(各会委員11名)。

(2) 安全登山講習 教育委員会

イ) 気象講座 2022年1月15日(土)

講師：猪熊隆之氏(谷口教育副委員長)

・労山おかやま12月号掲載 観天望気、座学実施 40名程度募集。

・11月8日に加治教育委員長、谷口教育副委員長、笠井ハイキング委員長で下見を行った。

・9:00~観天望気(高野ちびっこ広場)、13:30~座学(生涯学習センター)。

・12月15日現在の申し込み状況確認。

ロ) 雪山講習 2022年2月19日(土)・20日(日)・3月26日(土) 大山

講師 近藤邦彦氏(加治)

・労山おかやま1月号掲載

2月・ルーフラインディング・ラッセル技術、ビバーク技術

3月・ピッケル・アイゼンワーク

(3) 全国連盟行事について

イ) 第22回全国ハイキングオンライン交流集会 11/27(土) 午後1:00~5:00

・盛重ハイキング委員長、笠井ハイキング副委員長出席。

(4) 全国連盟組織数登録及び栄誉功労章の申請(加治)

イ) 組織数 所属各団体の11月末現在の会員数を12月25日までに報告。

・玉野、新見報告済、労山カードで確認を。

・二つの会に所属している人をどうするか。

ロ) 栄誉功労章 労山運動の前進に功績のあった会員 岡山県連3名 12月31日までに。

・県連より3名申請予定。次回理事会で決定。

永年会員章 労山会員として20年以上在籍の会員 各会会長が申請する。

・全国連盟への申請は、県連でまとめて提出する。

(5) 各委員会の開催

・来年の委員会実施に向け準備をよろしく。

(6) 次号「労山おかやま」の編集案提案と記事原稿分担(谷川機関紙委員長)

編集案に沿って協議。原稿締め切り 12月15日(常に印刷の1週間前)

印刷は 12月22日(水)

(7) 第7回吉備路の山全山縦走大会(盛重理事)

・3月20日(日)開催 1,000名参加者予定

・11月5日(金)第2回実行委員会、11月26日(金)ボランティア集会開催。

・11月30日 後援リストの箇所へあいさつ。

・チラシの参加申込書をハガキに貼って申し込む。ネット会員の人は、PDFをダウンロードして。

(8) その他

今後の理事会日程

2021年 12月22日(水) 19時00分より
ゆうあいセンター(きらめきプラザ内)

2022年 1月26日(水) 19時00分より
ゆうあいセンター(きらめきプラザ内)

県連・各会 '22年1月～年2月 行事・山行予定表

'22年1月		(太字は県連行事)		'22年2月		(太字は県連行事)	
曜	予	定		曜	予	定	
1	土			1	火		
2	日			2	水		
3	月	那岐山(みまさか)		3	木		
4	火			4	金		
5	水			5	土	雪山初心者講習会(三平山)(SCMC)、 妹山～鷲峰山(KHC)	
6	木			6	日		
7	金	星のブランコ(SCMC)		7	月		
8	土	八丈岩山(KHC)		8	火		
9	日	福山お雑煮山行(KHC)		9	水		
10	月			10	木		
11	火			11	金	伯耆大山(みまさか)	
12	水			12	土		
13	木			13	日	総会兼ハイキング(THD)、善通寺・五岳山(KHC)	
14	金			14	月		
15	土	県連安全登山講習:気象講座・観天望気		15	火		
16	日	津黒山(みまさか)、新年山行 遙照山(SCMC)、 玉野近郊の山(THD)		16	水		
17	月			17	木	沙美アルプス(KHC)	
18	火			18	金		
19	水	倉敷歴史探訪と鶴形山(KHC)		19	土	県連安全登山講習:雪山、蒜山三座(SCMC)	
20	木			20	日	県連安全登山講習:雪山ビバーク訓練、 毛無山(KHC)、七宝山・&うどん山行(NHC)、 笠岡諸島巡り:飛島一周(SCMC)	
21	金			21	月		
22	土			22	火	県連理事会	
23	日	飯野山(みまさか)、王子ヶ岳・由ヶ山(NHC)、 大山(KHC)		23	水	葦嶽山(SCMC)中止	
24	月	津黒山(みまさか)		24	木	吉備の中山・吉備津神社(KHC)	
25	火	最上稲荷と龍王山(KHC)		25	金		
26	水	県連理事会		26	土	鬼ノ城(読図)(KHC)	
27	木			27	日	由ヶ山・王子ヶ岳(みまさか)、ポンポン山(SCMC)	
28	金			28	月		
29	土	小野アルプス(SCMC)、大山(~30)(SCMC)中止					
30	日	虎丸山(KHC)					
31	月						

<編集後記>

来る1月15日(土)に山の天気講座「観天望気」と天気図から読み取る気象リスクと題して講座が実施されます。天気と言えば、近年異常気象に伴う豪雨が大被害をもたらしています。巨大な積乱雲が同一場所で次々と発生し線状降水帯を作ることが原因といわれています。それもこれも、地球温暖化がもたらす結果とすれば、二酸化炭素の排出削減すなわち石炭石油エネルギーから再生可能エネルギーへの転換が、世界の潮流となってきているのが現実です。

近年再生可能エネルギーの立地と、自然保護運動が対立する状況が各地で起こっています。絶対反対と絶対建の設対立ではなく、話し合い互いに譲り合って妥協点を見つけていくのが国土の狭い日本の行き方ではないかと考えるこのごろです。

(T.Y)